

新書通111人が厳選した 年間ベスト20

 大賞	153点	日本軍兵士	著●吉田 裕 中公新書/本体820円
第2位	94点	文系と理系はなぜ分かれたのか	著●隠岐さや香 星海社新書/本体980円
第3位	91点	陰謀の日本中世史	著●呉座勇一 角川新書/本体880円
第4位	76点	日本が売られる	著●堤 未果 幻冬舎新書/本体860円
第5位	65点	原民喜	著●梯 久美子 岩波新書/本体860円
第6位	62点	昭和の怪物 七つの謎	著●阪正康 講談社現代新書/本体880円
第7位	46点	朝日ぎらい	著●橋 玲 朝日新書/本体810円
第8位	45点	国体論	著●白井 聡 集英社新書/本体940円
第9位	42点	異端の時代	著●森本あんり 岩波新書/本体860円
第10位	41点	生きづらい明治社会	著●松沢裕作 岩波ジュニア新書/本体800円
同	41点	フォッサマグナ	著●藤岡操太郎 講談社ブルーバックス/本体1000円
第12位	40点	絶滅の人類史	著●更科 功/NHK出版新書/本体820円
同	40点	土 地球最後のナゾ	著●藤井一至/光文社新書/本体920円
第14位	38点	試験に出る哲学	著●斎藤哲也/NHK出版新書/本体860円
第15位	37点	平成デモクラシー史	著●清水真人/ちくま新書/本体1100円
第16位	36点	近代日本一五〇年	著●山本義隆/岩波新書/本体940円
第17位	35点	日本史の論点	編●中公新書編集部/中公新書/本体880円
第18位	34点	なぜヒトは学ぶのか	著●安藤寿康/講談社現代新書/本体840円
第19位	33点	「右翼」の戦後史	著●安田浩一/講談社現代新書/本体840円
同	33点	全国マン・チン分布考	著●松本 修/集英社インターナショナル新書/本体1100円
同	33点	世界史序説	著●岡本隆司/ちくま新書/本体860円

投票システム について

有識者、書店員、各社新書編集部、新聞記者など111人に、2017年12月～2018年11月発行(奥付表記)の新書から「読んで面白かった、内容が優れていると感じた、おすすめしたいと思った」5点を挙げていただき、1位10点、2位7点、3位5点、4位4点、5位3点で総合得点を集計しました。得点が高い場合は1位の票数の多いものを上位としました。新書編集部については原則として編集長に投票をお願いしています(公平を期すため自著、自社作品への投票はご遠慮いただきました)。

第9位

異端の時代

著者 ● 森本あんり

岩波新書 本体860円

得点

42
点

様々なものの権威が失われていく今、「異端発生のメカニズム」を解明し、正統の復権の可能性を問いかける。▼宗教思想史から正統と異端を振り返り、正統のかたち
が揺らぎ、社会の健全性が危うくなっている現代について考えた骨太の著作。正統は曖昧模糊としたもので人々
になんとなく信じられているが、異端のほうが正統を担
う気概や潔癖さを持っている、という指摘が新鮮（読売
新聞文化部・小林佑基）▼聖書学における正統論を、丸山
眞男なども参照し、論じた著作。『反知性主義』で話題を
集めた著者が、最も主張したかったのは「正統のかたちを

求めて」という副題

にあるのではないか。

篤実な著作が新書で

読めるのは素晴らしい

ことだ（日本大学

教授・先崎彰彦）



森本あんり

異端の時代

岩波新書

1732